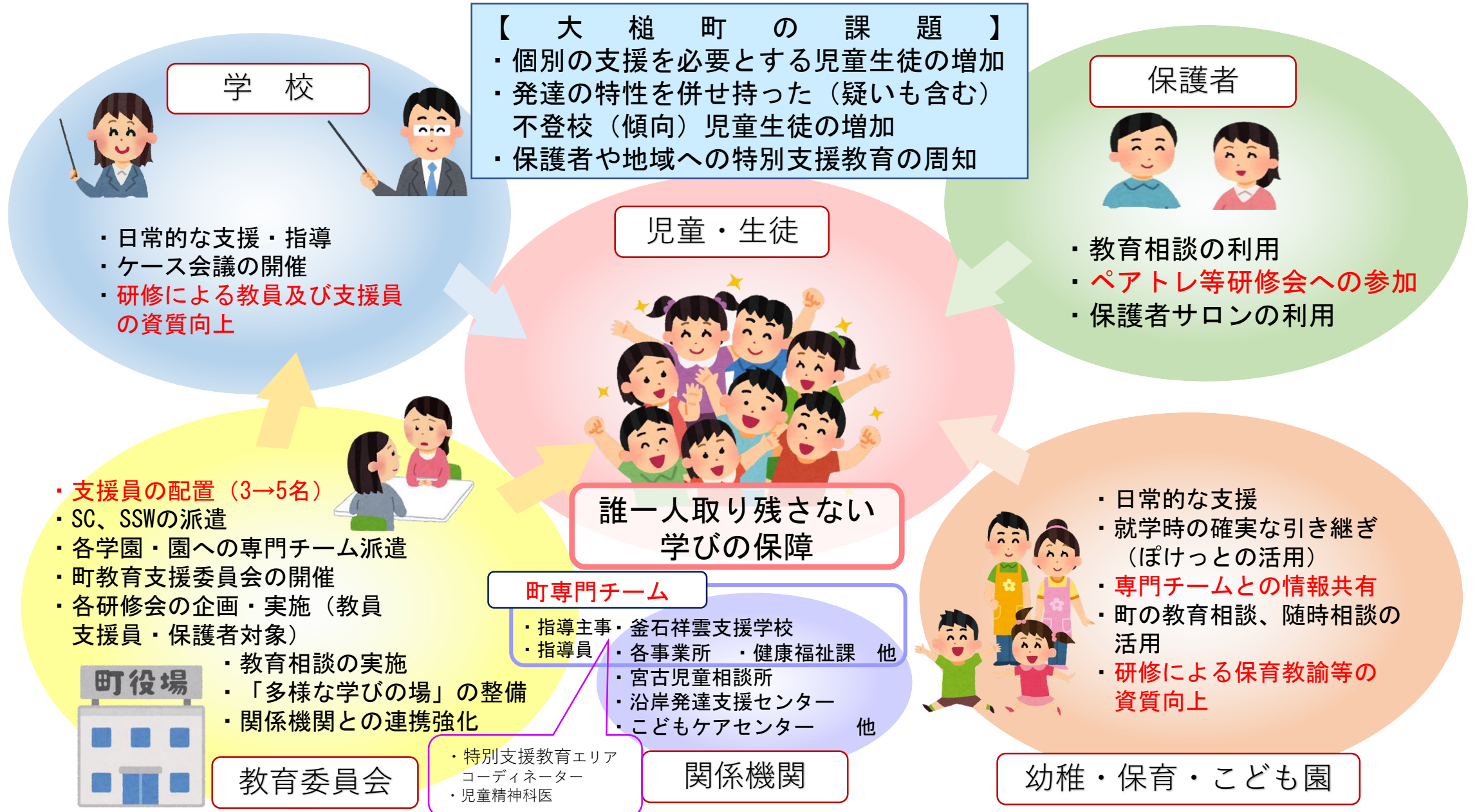


大槌町 けやき共育

令和5年度取組の成果と課題

大槌町教育委員会

けやき共育（大槌型特別支援教育）の体制



令和5年度の取組



- ①特別支援教育研修会
- ②特別支援員研修会
- ③事例検討会
- ④ペアレント（ティーチャーズ） ・ トレーニング
- ⑤専門チームの活用

特別支援教育研修会



- 特別支援学級担任及び町内幼稚・保育・こども園の保育教諭を対象
 - ・講師 特別支援教育エリアコーディネーター（県立気仙光陵支援学校教諭）
 - ・参加者 町立各学園特別支援学級担任及び町内幼・保・こ園保育教諭 他
 - ・内容 ①（講義・演習）個別の支援が必要な幼児児童への支援の在り方
②（演習）特別な教育課程及び個別の指導計画の作成について
 - ・成果と課題
今年度は支援学校の授業の様子をビデオで視聴し、その中で支援の方法を参加者で話し合うことで日常の支援に役立つ内容となり好評であった。
しかし、各校に戻って他の教員に共有されているかが課題である。

特別支援員研修会



- 町内各学園に配置している支援員及び特別支援員が対象（6名）
町内幼稚・保育・こども園の保育教諭にも周知し2園から参加
- ・講師 特別支援教育エリアコーディネーター
(県立気仙光陵支援学校教諭兼指導主事)
- ・内容（講義・演習）特性を持つ幼児児童についての理解
(協議) 日常の支援で困っていることなどの情報交換

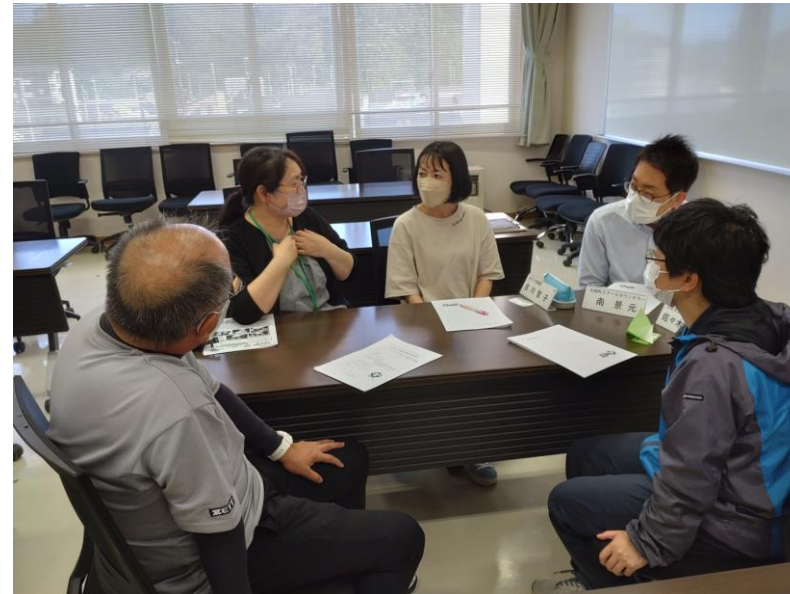


特別支援員研修会



- ・ 成果と課題

今年度から支援員を3名→5名に増員し、各学園に配置した。現場からは多くの感謝の言葉をいただいている。また、人数だけでなく個々の資質向上を図ることで支援を必要としている児童に行き渡ると思われる。年1回の研修では定着は難しいことから、来年度は年度初めと定期的な訪問等でフォローする必要がある。



事例検討会



- 町内各学園教職員含む教育、福祉、療育の関係者を対象（15名参加）
- ・助言者 発達障がい沿岸センター 佐藤 友紀 副所長
- ・内容 事前に参加者から提供いただいた事例をもとに、グループごとに協議し、佐藤副所長より助言をいただいた。



事例検討会



- ・ 成果と課題

夏季休業中の午前開催ということもあり、後期（7～9年生）担当の参加はなかったが、各分野からバランスよく参加があり非常に充実した会となった。参加者からは、「改めて横の連携の重要性を感じた」「多様な意見を聞く機会となり有意義であった」と肯定的な感想を多くいただいた。

しかし、助言者からの講評及び助言の時間が十分確保できなかったことや、この事業の意義やよさをどう教員に周知するかが課題である。



ペアレント（ティーチャーズ）・トレーニング



…今年度の本格実施の前に、
令和5年2月に試験的に「ティーチャーズ・トレーニング」を開催

当日は事前申し込みの他にも、当日に受講希望があるなど
総勢30名の参加者が集まった。

大槌町内からはもちろん、大船渡市、釜石市
山田町、宮古市からも参加があり、沿岸部でも
需要があることを確信した。

職種も教員や保育教諭・保育士の他、事業所
支援員、社会福祉士、民生委員など様々な方
が集まった。



ペアレント（ティーチャーズ）・トレーニング



- （ペアトレ） 町内（外）の保護者
（ティートレ） 各学園教員及び町内幼稚・保育・こども園の保育教諭 他
を対象

・ 8月末から10月上旬にかけて、全4回実施

・ 講師 NPO法人 紫波さぷり
理事長 細川 恵子氏
樋渡 朗子氏（公認心理士）

・ 内容 支援機関で取り組んでいる子どもへの療育を家庭や学校などでも行うことで、療育の効果をアップさせたり、維持させたりすること目的のプログラムをグループ形式で学ぶ。

大槌町【けやき共育】
ペアレント・トレーニング
参加してみませんか

ペアレント・トレーニングとは、保護者の方が子どもとのより良いかわり方を学びながら、日常の子育ての困りごとを解消し、楽しく子育てができるよう支援する、保護者向けのプログラムです。また、教員・子供支援関係者向けのプログラムも用意していますので、ぜひご参加下さい。

講師：細川 恵子先生（NPO法人紫波さぷり代表）
樋渡 朗子先生（臨床心理士・公認心理士）

開催日（全4回実施）
第1回 2023.8/25(金)から
第2回 9/11(月)、第3回 9/29(金)、第4回 10/13(金)

時間 13:30～15:00（教員等 15:30～17:00）
会場 おしゃっち会議室2（大槌町末広町1-15）
対象者 大槌町内の各幼稚・保育・こども園、または各学園にお子さまが在籍している保護者（先着6名まで）

☎【お問合せ・申込み】 大槌町教育委員会 学務課
0193-42-6100
(平日 9:30～16:30)

ペアレント・トレーニング



- ・ 5名の保護者が参加（大槌町4名、釜石市1名）

- ・ 成果と課題

4回の研修会を全部参加できたのは1名のみであった。他の参加者は仕事や体調不良等により参加できない回もあった。全部受講した参加者からは「（ペアトレを）実践することで自分自身が楽になった」との感想をいただいた。一方で、子どもに対する劇的な改善を期待した保護者が、そうではないことで参加を見合わせるという事例もあった。



ティーチャーズ・トレーニング



- ・参加者19名（教員9名、支援者10人）
その中で釜石からの参加が6人

- ・成果と課題

本研修会が始まってからも、参加希望の追加があるなどニーズの高さが感じられた。本来、幼児や小学生の低学年向けの内容のプログラムであるが、今回高校生に関わっている方の参加も多く、実践での効果を感じたとの感想もいただいている。町の実態として、子どもたちの幼さや不安定さ、それによる指導・支援の入りにくさが見えてくる。だからこそ、日常の中での支援の在り方を見直す必要があると思われる。



専門チームの活用



- 教育委員会が主となり、各関係機関と連携し、ケースに合わせて対応

大槌町専門チーム

- ・各チームの構成員は大きく変わらないので、情報の共有がスムーズに行えている。
- ・0歳から18歳までの学びをつなげるためにも、専門チームでの支援の継続が、大槌町の子ども保護者、教員にとって欠かせない支援となっている。

相談チーム

指導主事、SC、SSW、
教育相談員、社会福祉士
医師 など

特別支援教育チーム

指導主事、釜石祥雲教諭、
エリアCo、社会福祉士、
各学園Co、SC、SSW、
医師 など

就学支援チーム

指導主事、釜石祥雲教諭、
社会福祉士、保健師、
指導員、各学園Co、
療育事業所、医師 など